

CH1

サステナビリティコミュニケーション

まえがき

1.1 会社概要

1.2 ヌヴォトンの価値

1.3 サスティナブルガバナンス

1.4 重要課題の分析およびステークホルダーとの
コミュニケーション

CH1
サスティナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

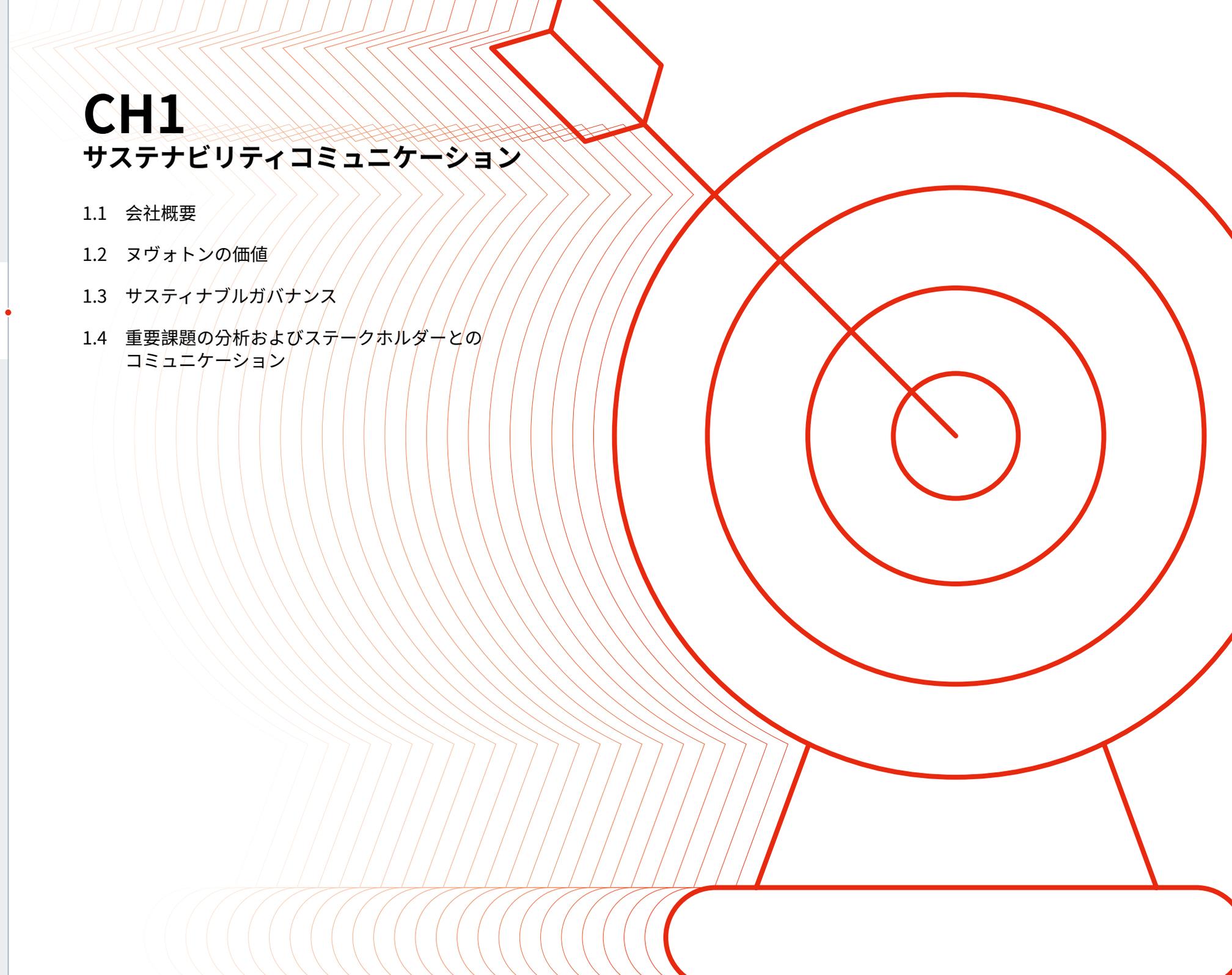
CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サスティナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録



1.1 会社概要

ヌヴォトン (Nuvoton Technology Corporation) の英語名である Nuvoton は「Nuvo」と「Ton」という二つの単語の組み合わせです。「Nuvo」は「新しい」という意味のフランス語「Nouveau」と発音が近く、「Ton」は英語での発音が唐朝の「唐 (Tang)」に近いですが、唐朝は中国史上でも最も隆盛だった朝廷の一つであり、国際的な文化交流、経済貿易、科学技術のイノベーションなどいずれの面でも輝かしい成果を上げたため、唐朝は世界の中心でした。ヌヴォトンは、卓越した開発というイノベーションスピリッツ、顧客との密接な関係、およびグローバル人材の結集を堅持しつつ、「グリーン半導体技術で人々の暮らしを豊かにする隠れたチャンピオン」というビジョンの実践に努めており、それは「隆盛だった大唐のスピリッツを IC 産業で新たに生まれ変わらせたい」というヌヴォトンの願いも表しています。

2008年に設立されたヌヴォトン (銘柄コード 4919) は、同年7月に華邦電子からロジック IC 事業部門の譲渡を受けて本格的な運営を開始し、2010年に台湾証券取引所で正式に上場しました。設立の目的は半導体産業にイノベティブなソリューションをもたらすことであり、マイクロコントローラ/マイクロプロセッサ、スマートホーム、クラウドセキュリティ、バッテリーモニタリング、イメージセンシング、IoT アプリケーション、半導体素子といった IC 製品の開発に取り組んでいます。それらの製品は工業用、車載用、通信用、コンシューマーエレクトロニクス、コンピュータなどいずれの市場でも先駆的な地位を占めています。また、ヌヴォトンが擁する6インチウェーハの製造工場は、様々な製造プロセス技術・能力を備えて、専門的なウェーハ受託製造サービスを提供してきました。

ヌヴォトンは、一貫して多面的な企業戦略を採用し、ターゲット市場と製品アプリケーションを持続的に拡大しながら、各製品について世界の半導体サプライチェーンや顧客と密接に連携し、市場や環境の変動時における機動性を高めています。それと同時に、グリーンイノベーションとサステナビリティを積極的に実践しつつ、デジタルトランスフォーメーションの推進により運営効率を向上させ、絶えず変化する市場の中で新たな価値を創出し続けてきました。また、ヌヴォトンは地域的な顧客サポートサービスとグローバルな運営管理を強化するため、アメリカ、中国大陸、イスラエル、インド、シンガポール、韓国、日本、ドイツなどのいずれにも拠点を設けています。

会社の基本データ



2023 年の業績結果

経営理念と企業文化

当社は機動的なイノベーション技術能力、完全な製品ソリューションおよび卓越した技術の総合的な整合により、コストパフォーマンスの優れた製品を顧客に提供し、既存の充実した基盤に立って、より良いサービスを顧客に提供してきました。そして、「信義誠実の経営、責任あるチーム、熱意ある学習、積極的なイノベーション、サステナビリティへの貢献」という企業文化を各経営活動に落とし込み、「グリーン半導体技術で人々の暮らしを豊かにする隠れたチャンピオン」というビジョンの目標に向けて努力していきます。



まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録

外部との連携

ヌヴォトンには国内外の産業や技術の研究開発などに関する公的組織・団体の活動へ積極的に参画し、それら公的組織・団体の定期的または不定期の会議での意見交換により、業界構成員とのコミュニケーションの架け橋を形成します。他産業の先駆者、専門家、研究者などとの意見交換や討論を通じて、業界の動向や将来の発展趨勢を深く理解するとともに、自社の経験を共有し、貴重なヒントを得ています。そうした公的組織・団体の活動に参画することにより、当社のブランドイメージや知名度が上がって認知度がより高くなり、さらにはお客様やパートナーの信頼度が向上し、事業の開拓や市場競争が促進されます。つまり、そうした公的組織・団体の活動への参画は、責任や義務であるだけでなく、貴重なチャンスやリソースでもあり、当社の専門的なイメージと市場への影響力を向上させるために役立ちます。

参画している組織	資格 / 参画の状況
JEDEC Solid State Technology Association	会員 / 会議出席
IEEE Enterprise	会員 / 会議出席
Global Semiconductor Alliance (GSA)	会員 / 会議出席
PIDA GaN 電力・マイクロ波協議会	会員 / 会議出席
台湾化合物半導体・設備産学連盟	会員 / 会議出席
マイクロセンサー・アクチュエーター産学連盟 (MEMS 産学連盟)	会員 / 会議出席
台湾科学工業園区科学工業同業組合	会員 / 会議出席
台湾科学園区科学工業同業組合	会員 / 会議出席
中華民国工商協進会	会員 / 会議出席
新竹園区水・電気供給委員会	メンバー / 情報の收受
新竹科学園区化学災害共同防止組織-新竹市 B グループ	グループリーダー / 会員の会議に出席

参画している組織	資格 / 参画の状況
電子情報技術産業協会 (JEITA)	正会員 / 会議出席
電子情報技術産業協会 半導体部会 (JSIA)	役員 / 会議出席
日本インダストリアルイメージング協会 (JIIA)	賛同会員 / 会議出席
道路交通情報通信システムセンター (VICS)	賛同会員 / 会議出席
HDMI Forum, Inc.	一般会員 / 会議出席
Video Electronics Standards Association (VESA)	一般会員 / 会議出席
日本鉄道サイバネティクス協議会	B 会員 (関連事業者) / 会議出席
ID 認証技術推進協会 (JICSAP)	正会員 / 会議出席
ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMA)	一般会員 / 会議出席
Japan Automotive ISAC	準会員 (シルバー会員) / 会議出席
パワーエレクトロニクス学会	一般会員 / 会議出席
電気学会	一般会員 / 会議出席
日本冷凍空調学会	一般会員 / 会議出席
一般社団法人エッジプラットフォームコンソーシアム (EPFC)	一般会員 / 会議出席
日本電子デバイス産業協会 (NEDIA)	正会員 / 会議出席

まえがき

CH1
サスティナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガバナンス

CH4
環境サスティナビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録



1.2 ヌヴォトンの価値

ヌヴォトンはIC設計、生産技術から製品の応用まで、よりコンパクトで低消費電力のグリーン製品をお客様に提供することを追求し続け、生産プロセスでの環境に対する影響を低減させるとともに、医療機器、IoTデバイス、スマートシティなどのソリューションを通じて、社会への影響力を創出しています。それらの製品は効率や性能を向上させるだけでなく、より高い利便性や利用可能性も社会にもたらし、市場におけるヌヴォトンの全体的な競争優位性を長期にわたり向上させるため、グローバル市場でグリーンビジネスのチャンスを掴み取ることができます。

まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録



製品の類型	マイクロコントローラ製品 ¹	オーディオ製品	クラウドコンピューティング製品	半導体素子製品	イメージセンシング製品	バッテリーモニタリング製品
応用分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5G ・ エネルギー管理 ・ スマート IoT ・ 工業制御 ・ エンドポイント AI ・ IoT セキュリティ ・ 基地局 ・ サーバー ・ スマートホーム ・ 通信装置 ・ 電気自動車エレクトロニクス ・ コンシューマーエレクトロニクス ・ AV 機器 ・ ゲーム装置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマートインダストリー ・ スマートロボット ・ 会議システム ・ スマート家電 ・ スマートオーディオ ・ スマートホームエンターテインメント ・ スマートカー ・ スマートインタラクティブ玩具 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エッジコンピューティング ・ サーバー専用の遠隔管理 ・ 電源管理 ・ コンピュータハードウェアモニタリング ・ 通信装置（携帯電話やノートパソコン） ・ リモートワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業用設備 ・ 光ファイバー通信 ・ ウェアラブルデバイス ・ スマートフォン ・ タブレットパソコン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自律移動ロボット（AMR） ・ 人の行動認識 ・ 障害物検知 ・ 撮影機器 ・ 医療用内視鏡 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気自動車 ・ 家電 ・ ファンモータ

¹ ヌヴォトン傘下のマイクロコントローラ事業群や IoT with Security 事業群の製品が含まれる。

1.3 サステナブルガバナンス



サステナビリティ委員会

ヌヴォトンは「グリーン半導体技術で人々の暮らしを豊かにする隠れたチャンピオン」を目指しています。そして、経営陣による指導の下、信義誠実、イノベーション、情熱などを堅持しつつ、企業価値を持続的に向上させるとともに、世界情勢を見据えて、社会的な課題に配慮し、ステークホルダーの期待にも応えてきました。また、ESG（環境、社会、ガバナンス）と向き合ったビジョンから戦略の枠組みを策定し、国連の持続可能な開発目標（SDGs）アクションプランに呼応して、ヌヴォトンのコアアビリティをサステナビリティの理念に融合させながら、人材、フロー、科学技術などの中で新たな未来を萌え出させ、社会のためすばらしい可能性を切り拓いていく所存です。ヌヴォトンは「サステナビリティ経営」を目標にしつつ、「イノベティブな改善」という方法により、当社のサステナビリティビジョンを実現していくことを約束します。

ヌヴォトンはサステナビリティ経営という理念を確実に堅持しつつ、サステナビリティガバナンスの枠組みを構築するため、当社におけるサステナビリティ運営の最高ガバナンス機関として社内にサステナビリティ委員会を設置しました。サステナビリティ推進の責任者である同委員会委員長には総経理が就任するか、上級管理職者が任命され、経営、環境および人々（人権を含む）に関するサステナビリティインパクトやサステナビリティ管理方針の統一的な管理と組織化に当たります。NTCとNTCJでは、七大機能に対応したWGを設置し、七大機能のWGを招集して短・中・長期的な目標を設定させ、各WGの責任で具体的な年間推進計画を策定させます。その各四半期における達成状況をサステナビリティ委員会が追跡・確認し、委員長が定期的に推進の成果を董事会に報告します。

公式ウェブサイトの規則 



まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

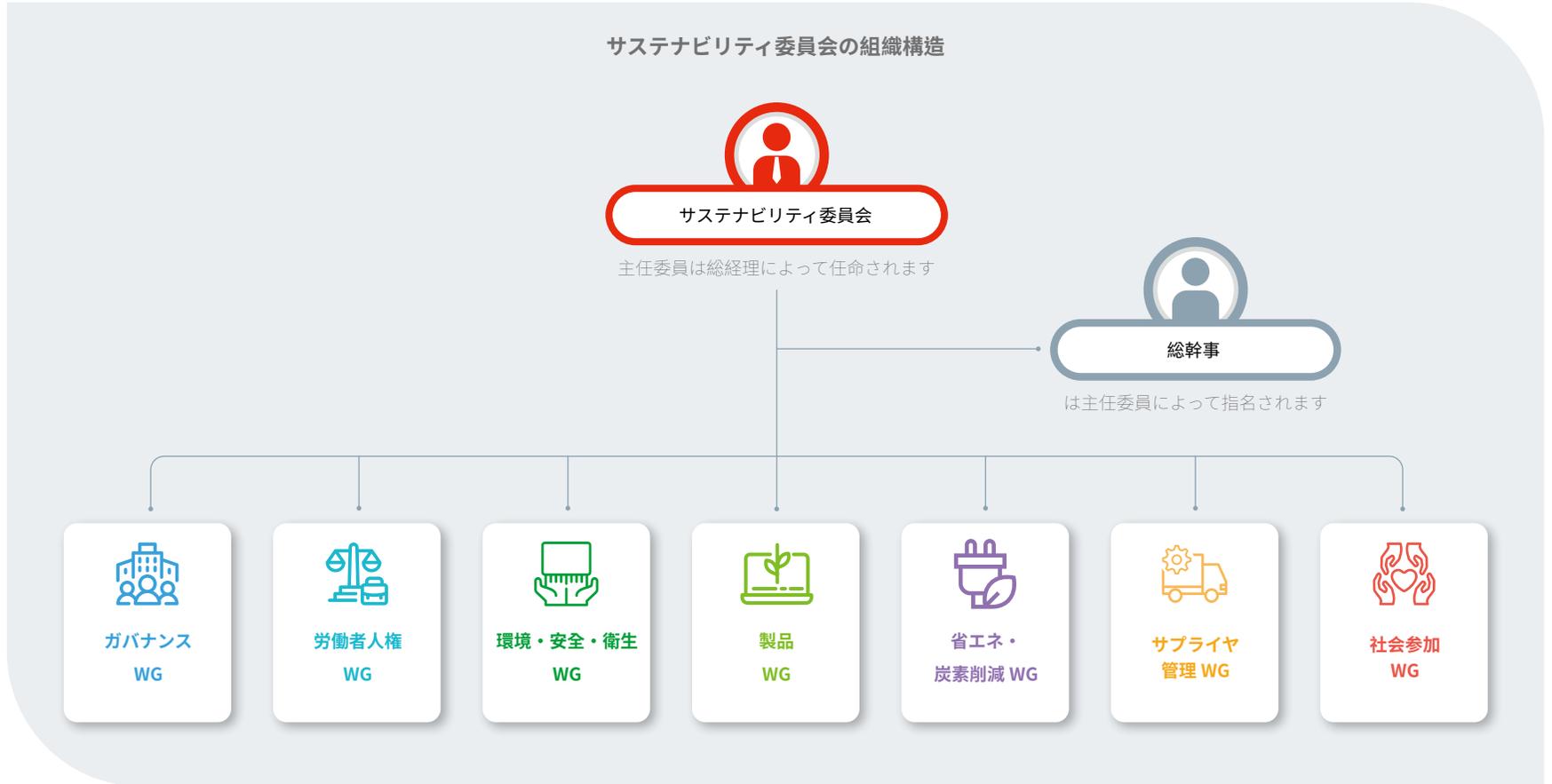
CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録



ヌヴォトンでは、当社のサステナビリティと経営を着実に実施し、経営、ガバナンス、環境と社会のサステナビリティを推進するため、サステナビリティ委員会に「ヌヴォトン株式会社サステナビリティ実務規則」を策定させ、それを董事会が承認した上で、ヌヴォトンにおけるサステナビリティ実践の最高指導原則としています。それは台湾政府の「上場・店頭公開企業のサステナビリティ実務規則」を遵守したものです。ヌヴォトンは当社で推進するサステナビリティ関連業務のコンプライアンスを確保するため、サステナビリティ経営という理念を堅持し、その実践に際してサステナビリティに関する国内外の規則や法律の動向を常に注視しています。

ヌヴォトンのサステナビリティ委員会は、ESGにおけるサステナビリティの推進、当社の温室効果ガス排出量（台湾と日本を含む）、各ステークホルダーの権益調整方法、信義誠実の経営の実施状況[※]を毎年定期的に董事会へ報告してきました。董事会の各メンバーは、サステナビリティ管理の各側面に関する指導方針やサステナビリティの長期的な方向性に関する案を適時に提示します。

※ 2023年度における各ステークホルダーとのコミュニケーションや信義誠実の経営などの推進状況については2023年10月31日に董事会へ報告済み。

2023 年サステナビリティ推進の重点プロジェクト

まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録



重点プロジェクト	パートナー	改善のメリット
省エネ・炭素削減設備への投資	サプライヤ	エネルギー消費効率の向上 エネルギーコストの低減 炭素排出量の低減
グリーン設計と製造プロセスのイノベティブな研究開発	顧客 サプライヤ	エネルギー消費量と炭素排出量の低減 環境インパクトの低減
温室効果ガス削減の短・中・長期的な目標設定	検証機関 顧客 サプライヤ	当社の実質ゼロに向けた経路の設定
再生可能エネルギー施設の建設	エンジニアリング業者	グリーンエネルギー利用率の向上
汚染物質排出量の削減	エンジニアリング業者 地域コミュニティ 外部顧問 学校	環境インパクトの低減
地域コミュニティの弱者支援に向けた投資	現地の地域コミュニティ 非営利組織	学習環境の改善 地域コミュニティとの共栄の促進
職場の安全保護	サプライヤ	労災発生率の低下 全従業員の安全性向上
ボランティア活動への参画	会社周辺地域コミュニティ 台湾 新竹県・市 台湾・屏東県 竹田小学校 日本 長岡京市	地域コミュニティの環境整備 従業員の環境保護意識向上 文化活動への従業員の参加奨励
気候に関するリスクと機会の識別 (TCFD)	外部顧問	ステークホルダーへの対応 極端な気候によるリスクと機会の把握
情報セキュリティ管理 ISMS (Information Security Management System)	外部顧問	情報セキュリティ保護の向上 情報漏洩リスクの低減 セキュリティ運営センターのシステム構築と運営
ガバナンスの評価	主管機関	ガバナンスのポイント向上

1.4 重要課題の分析およびステークホルダーとのコミュニケーション



重要課題の分析

ヌヴォトンは企業としてのサステナビリティ追求に際し、グローバル・レポートング・イニシアチブ（Global Reporting Initiative, GRI）により公布された GRI スタンダード 2021 年版（GRI Standards 2021）および AA 1000 説明責任原則基準を参考にしつつ、包括性、重大性、対応性および衝撃性を四大原則として重要課題を識別しました。また、GRI 3 マテリアルな項目（GRI 3: Material Topics 2021）に準拠しながら重要課題の分析フローを構築し、当社の重要課題が環境、経営および人々（人権を含む）に及ぼすプラス面・マイナス面のインパクトの程度を評価しています。

重要課題の分析フロー



まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

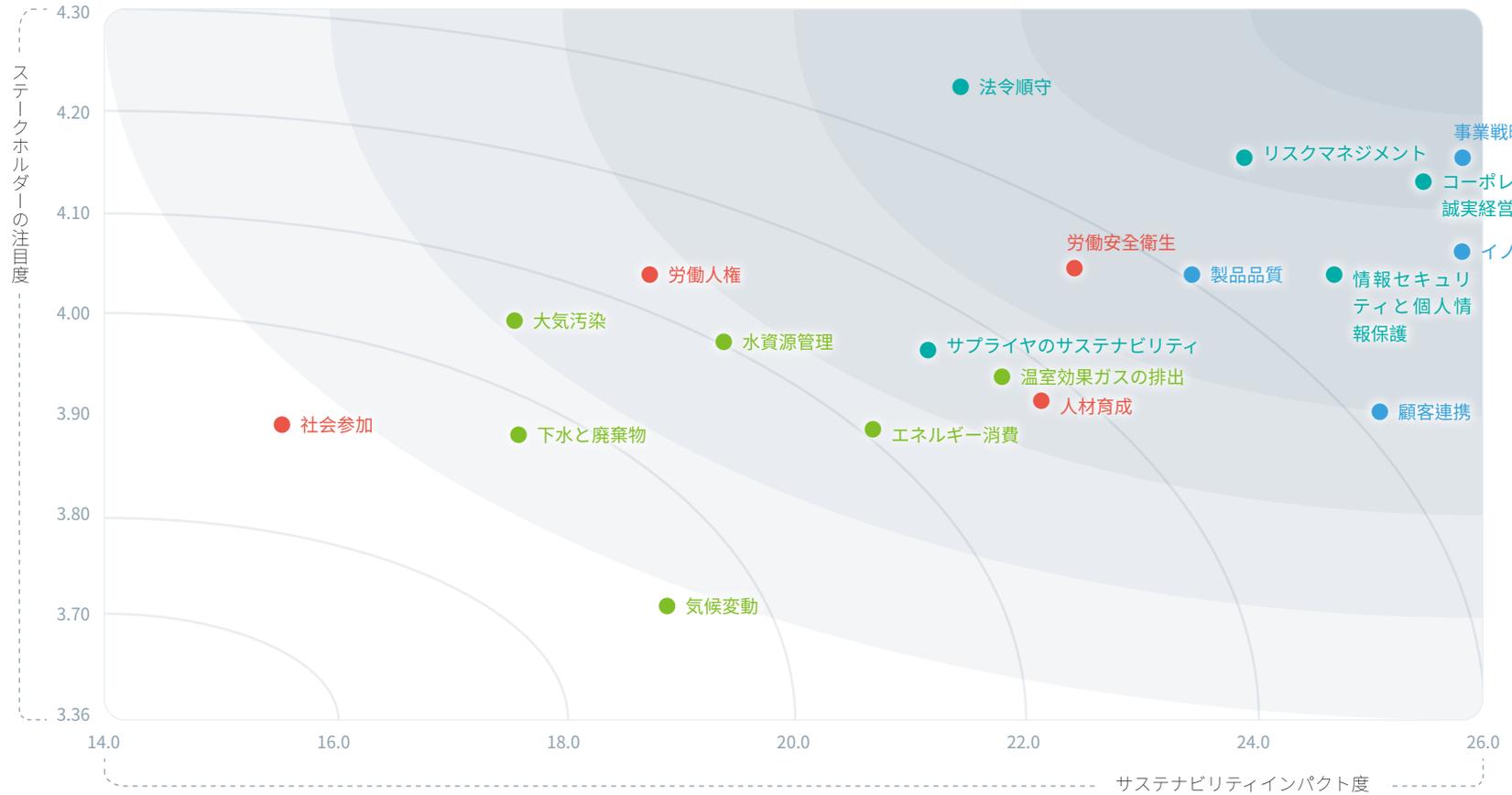
CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録

重要課題マトリクスである



経済面	ガバナンス面	環境面	社会面
事業戦略と業績	コーポレート・ガバナンスと誠実経営	温室効果ガスの排出	労働安全衛生
イノベーション創出	情報セキュリティと個人情報保護	エネルギー消費	人材育成
顧客連携	リスクマネジメント	下水と廃棄物	労働人権
製品品質	法令順守	大気汚染	社会参加
	サプライヤのサステナビリティ	気候変動	
		水資源管理	

まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

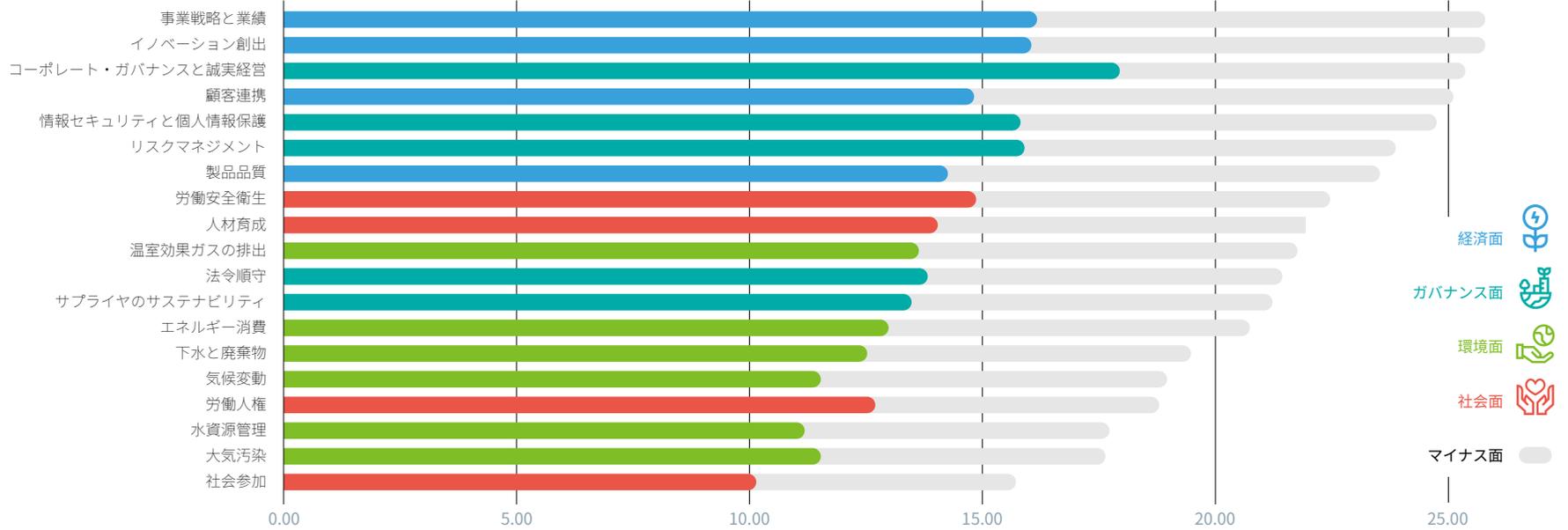
CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録

サステナビリティインパクトの評価



まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

重要課題のリスト*とインパクトに関する説明

対応する GRI のテーマに関するスタンダード	インパクトの側面 (プラス面 / マイナス面)	経営、環境および人々に対するインパクトの説明 (リスクや機会に対応する道)	対応する章節	主な担当部門
重要課題：ガバナンスと信義誠実の経営				
対応する GRI のテーマに関するスタンダード：コーポレート・ガバナンスにおける重要課題を評価することは、ヌヴォトンにとって重要な意義があり、当社がサステナビリティを確実に実現し、ステークホルダーの期待に応えて、関連法規を遵守し、リスクを有効に管理して、長期にわたり競争力を維持しながら、信用を確立するために役立つ。これらの要素は、当社の長期的な繁栄を図る上で極めて重要である。				

- ・ 205 腐敗防止
- ・ 206 反競争的行為

プラス面

- ・ ガバナンスや信義誠実の経営を適切に行い、それに関する規則を定めて実施し、運営活動の正しい行動基準を確立すれば、当社、社会および環境にプラスの影響をもたらす。

マイナス面

- ・ 当社が完全なガバナンスと信義誠実の経営を実行できなければ、当社のリソースの無駄遣いとなり、当社、社会、環境などのためにならない活動に従事すると、ステークホルダーにマイナスの影響をもたらす、さらには法律違反や訴訟に伴う予定外なコストまで生じかねない。

経営

- ・ 信義誠実の経営と良好なガバナンスは企業経営の基本原則であり、ヌヴォトンに対するステークホルダーの信頼を向上させ、ヌヴォトンに対する投資や取引の意欲を高めるため、営業収益や経営にプラスの影響をもたらす。

環境

- ・ 信義誠実の経営という理念を堅持しつつ、ガバナンス制度を整備すれば、環境を損ねる行為の実施を回避でき、経営的な考え方によりコストを環境に転嫁する事態の発生を減らせる。

人々

- ・ 良好なガバナンス制度と信義誠実の経営により、法律違反に伴う訴訟や懲罰および営業停止を回避でき、資源の無駄遣いも避けられて、さらには従業員への働く権利や公平な待遇も保障される。

3.1 ガバナンス

3.3 サステナビリティ経営の管理

- ・ サステナビリティ委員会のガバナンス WG、
- ・ NTCJ の内部統制室、NTCJ のコーポレート戦略室

* 重要課題リストの変更：リスク管理、法令遵守および顧客満足は 2022 年の重要課題であり、今回、重要課題を分析しても上位には入らないが、これら三つの課題がいずれも当社で長期的に推進すべき課題であることを考慮して、引き続き外部へ充分に開示していく。「ガバナンスと信義誠実の経営」、「サプライヤーのサステナビリティ管理」、「気候変動」および「労働安全衛生」は 2023 年に追加された重要課題であり、「人材の重視と育成」も 2023 年に追加された重要課題である。GRI 3 の重要課題決定の手引きに対応するため、内容が類似した課題を整理統合した結果、社会の側面で上位に挙げられた「人材の獲得と引き留め」と「人材の育成と開発」を統合した。

対応する GRI のテーマに関するスタンダード	インパクトの側面 (プラス面 / マイナス面)	経営、環境および人々に対するインパクトの説明 (リスクや機会に対応する道)	対応する章節	主な担当部門
<p>重要課題：経営戦略と経営実績 対応する GRI のテーマに関するスタンダード：経営戦略と経営実績はヌヴォトンのサステナビリティにとって重要であり、完全な経営戦略を立てれば、コストを最大限まで利用しながら収益を増加させ、さらには当社の利益と経営効率を向上させることができる。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 201-1 組織で発生および分配した直接的な経済 価値 201-3 確定給付制の義務とその他の退職計画 	<p>プラス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 完全な短・中・長期の経営戦略と目標を定めれば、運営実績が有効に向上し、市場競争力が維持される。 <p>マイナス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 市場の変化を洞察しないと、運営上の時機を逸して、顧客や受注を逃してしまう。 	<p>経営</p> <ul style="list-style-type: none"> 学界と連携して先行研究開発や実作を行えば、AI 研究開発の原動力が持続的に維持され、長期にわたり営業収益の機会が増加していく。 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 省エネの応用や施設管理にデジタル技術を導入すれば、運営効率が向上し、環境にもプラスの影響がもたらされる。 <p>人々</p> <ul style="list-style-type: none"> インテリジェントマニュファクチャリングのアプリケーションを開発すれば、業務や生産の効率、製造プロセスの品質および良品率が向上する。 	<p>3.2 運営の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総経理オフィス
<p>重要課題：イノベティブな研究開発の管理 対応する GRI のテーマに関するスタンダード：研究開発とイノベーションの能力は、ヌヴォトンが絶えず成長していくためのエンジンである。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 自主設定テーマ 	<p>プラス面</p> <ul style="list-style-type: none"> イノベーションと成長の原動力が持続的に向上し、斬新な製品やサービスの提供により市場シェアが拡大する。 <p>マイナス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進技術を保有できなければ、市場の変化に応じたイノベティブなサービスや製品を提供できず、市場競争力が低下する。 	<p>経営</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年、イノベーション、アイデア、事業創出という理念を掲げて、イノベーションの共有、産業創出およびデジタルによる繁栄・共生という理念を実践する。 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境とインテリジェントを結合させて、応用を開拓・拡大すれば、データの整合とモニタリングが加速され、環境に対するインパクトが低減する。 <p>人々</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員の活発な創意工夫を奨励するとともに、評価・選考に合格した提案を表彰し、戦略的かつ具体的な行動により従業員の積極的なイノベーションを奨励する。 	<p>2.1 研究開発によるイノベーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ委員会の製品 WG
<p>重要課題：情報セキュリティとプライバシー保護 対応する GRI のテーマに関するスタンダード：当社の長期的かつ安定的な発展と顧客満足度を確保する意義がある。また、当社と顧客の資産や信用も守られる。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 自主設定テーマ 	<p>プラス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客からの信頼と満足度が向上する。 商業的価値や信用が創出される。 情報セキュリティやプライバシーに関する法的要件を遵守することで、法律違反による罰金を避けられる。 <p>マイナス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 人為的ミスにより情報が漏洩し、さらにはセキュリティリスクや損失を招く。 セキュリティ管理により事業効率が低下したり、顧客エクスペリエンスに影響を与えたりする可能性がある。 	<p>経営</p> <ul style="list-style-type: none"> 違法リスクを回避し、企業の信頼性とイメージを維持する 顧客の心の中でブランドのイメージと信用度が向上することにより、市場規模が拡大し、新たなビジネスチャンスを開拓できる。 顧客ロイヤリティの向上 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報機器のセキュリティ保護やアップグレードを行えば、機器の効率や運用性能が向上することにより、エネルギー消費量が低減し、グリーンテクノロジーの発展と応用が促進される。 <p>人々</p> <ul style="list-style-type: none"> 従業員や顧客の個人情報の濫用、漏洩、侵害などの確実な防止により、個人の基本的人権が守られ、当社の社会的責任を果たせる。 	<p>3.3 サステナビリティ経営の管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ委員会のガバナンス WG NTCJ の情報セキュリティ推進委員会

対応する GRI のテーマに関するスタンダード	インパクトの側面 (プラス面 / マイナス面)	経営、環境および人々に対するインパクトの説明 (リスクや機会に対応する道)	対応する章節	主な担当部門
<p>重要課題：サプライヤのサステナビリティ管理 対応する GRI のテーマに関するスタンダード：サプライヤは、ヌヴォトンの運営や生産に必要な材料を供給するため、ヌヴォトンはサプライヤとの共同成長を追求すべく努力している。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 204 調達実務 308 サプライヤの環境評価 414 サプライヤの社会的評価 	<p>プラス面</p> <ul style="list-style-type: none"> サプライヤを管理する良好な仕組みを確立し、サプライヤと共同・連携してサステナブルサプライチェーンを構築すれば、サプライヤにおける人権保障の実施状況を把握できるとともに、省エネ・炭素削減や運営コスト削減という目的をサプライヤと共同で達成できる。 <p>マイナス面</p> <ul style="list-style-type: none"> サプライヤのサステナビリティ管理を実施できなければ、サプライヤにおける人権や環境管理の状況を把握できず、サプライヤの行為により当社、社会、環境などへ悪影響が及びやすくなる。 	<p>経営</p> <ul style="list-style-type: none"> 完全なサプライチェーン管理制度を確立し、物資が安定的に供給されると、運営、生産、操業などの効率が向上し、営業収益が増加する。 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> サプライヤと共同・連携し、省エネ・炭素削減計画の制定も含めて、サプライヤにおけるサステナビリティの実績向上に協力する。サプライチェーンの環境面の管理を重視しなければ、コンプライアンスリスク増大の可能性がある。 <p>人々</p> <ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンで人権に関する紛争や事件が発生すると、顧客の信頼感や発注量が低下し得る。 	<p>3.4 サステナブルサプライチェーン</p>	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ委員会のサプライヤ管理 WG
<p>重要課題：気候変動 対応する GRI のテーマに関するスタンダード：ヌヴォトンは気候変動と企業のサステナビリティ経営とが互いに影響し合っていることの重要性を深く認識している。気候変動が企業の運営にもたらし得る財務リスクに鑑み、ヌヴォトンは TCFD で推奨されている方法に従って気候変動に関するリスクや機会を識別した上で、その結果を当社のリスク管理の枠組みに組み入れ、サステナビリティ戦略項目の一つとしている。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 自主設定テーマ 	<p>プラス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 当社が管理の実務、製品の研究開発、運営目標といったレベルに気候変動を組み入れると、気候に関する様々なリスクや機会によりもたらされるインパクトの影響に対応しやすい。 <p>マイナス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 当社が管理の実務、製品の研究開発、運営目標といったレベルに気候変動を組み入れないと、気候変動に関するリスクや機会によりもたらされる影響に予め対応しにくい。 	<p>経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ヌヴォトンは気候に関する様々なリスクや機会に伴うインパクトや影響へ対応することにより、発展戦略や財務への影響を評価して、グリーン製品の研究開発規模を持続的に拡大し、当社の競争力と産業チェーンの価値を向上させている。 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産設備のエネルギー変換効率を向上させ、エネルギー消費量を低減させる。 極端な気候により生じ得る製品供給への影響を識別し、生産ラインの配置を事前に調整する。 <p>人々</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動の課題を重視し、従業員の仕事や生活などに及び得る影響について対応・付帯措置を事前に講じる。 	<p>4.1 気候変動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主に財務部門が担当し、それをサステナビリティ委員会が共同で監督する。
<p>重要課題：温室効果ガスの排出 対応する GRI のテーマに関するスタンダード：温室効果ガスによる温室効果は世界的な課題であり、世界の生態系の存続に影響するため、ヌヴォトンとしても、それを他人事と考えるのではなく、当社のサステナビリティに関する重要な課題と見なして、省エネ・炭素削減を積極的に推進していく。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 305 温室効果ガスの排出 	<p>プラス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 当社の温室効果ガス排出量を理解すれば、データを有効に管理しながら、将来的な炭素削減の道筋や戦略を計画できる。 <p>マイナス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガスの排出量を有効に管理できなければ、将来的に炭素税や炭素賦課金が徴収されるリスクと支出が増大する。 	<p>経営</p> <ul style="list-style-type: none"> 経済部エネルギー局により公告された低エネルギー消費基準に適合するか、省エネマークが設定されているエネルギー関連設備を調達する。 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織的な温室効果ガスの精査を行い、炭素削減戦略を立てる。 <p>人々</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境保護や省エネルギーに関する従業員の意識を向上させる。 	<p>4.2 温室効果ガス（温室効果ガス）の管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ委員会の省エネ・炭素削減 WG

対応する GRI のテーマに関するスタンダード	インパクトの側面 (プラス面 / マイナス面)	経営、環境および人々に対するインパクトの説明 (リスクや機会に対応する道)	対応する章節	主な担当部門
<p>重要課題：エネルギーとリソースの使用・消費 対応する GRI のテーマに関するスタンダード：ヌヴォトンは「環境サステナビリティ」という理念により、製品設計、サービス、活動、生産などに伴う環境へのインパクトを低減させている。当社はエネルギー関連法規を遵守して、ステークホルダーのニーズを重視し、エネルギー管理システムの推進により環境に配慮した省エネ環境を構築することを約束する。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 302 エネルギー 	<p>プラス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 当社のエネルギー消費効率が向上し、省エネ・炭素削減を実施できる。 <p>マイナス面</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーやリソースの消費を適切に管理できなければ、運営コストと運営中断のリスクが増大する。 	<p>経営</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境管理システムを設置し、その計画、実施、検査などを通じてエネルギー・リソース管理を着実に行えば、エネルギー・リソースの消費効率が向上する。 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光による省エネ設備を設置すれば、再生可能エネルギーの利用割合が増加する。 <p>人々</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境保護や省エネに対する従業員の意識が向上する。 	<p>4.3 エネルギー資源の管理と循環経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> サステナブル委員会の省エネ・炭素削減 WG と環境・安全・衛生 WG
<p>重要課題：人材の重視と育成 対応する GRI のテーマに関するスタンダード：当社が成長するための基礎は従業員の専門・管理能力であり、優秀な人材の募集、引き留めおよび育成・開発は当社の重要な任務である。人材資産は当社の経営にとって不可欠で重要な要素であるため、人材の優位性こそが競争力の維持に繋がる。 ヌヴォトンの考えによると、人材はサステナビリティの重要な鍵であり、優秀な人材がいるからこそ、技術の発展や競争優位性により当社が市場で重要な地位を占め続けられている。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 401 労使関係 404 訓練・教育 	<p>プラス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 当社が従業員の給与や福利厚生、および人材の開発やエンパワメントを重視すれば、企業文化を活性化させながら人材の長所を發揮させることができ、サービス / 生産の効率や製品の品質が向上するため、さらには市場における当社の競争優位性が強化される。 <p>マイナス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 当社が従業員の給与や福利厚生、および人材の開発やエンパワメントを重視しなければ、人材の流失や訓練不足を招き、さらには製品の品質が低下したり、作業が間違えられたりし、当社の競争力が低下してしまう。 	<p>経営</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材は企業が成長するための根幹であるため、従業員の開発を持続的に重視すれば、従業員のイノベーション能力や効率を向上させることができ、さらには当社の競争力や営業収益増加の原動力が向上する。 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> NA <p>人々</p> <ul style="list-style-type: none"> 当社が従業員を重視して積極的に育成すれば、人材を獲得して引き留めた上で、その長所を發揮させ、従業員の仕事への情熱や満足度を向上させることができる。 	<p>5.2 人材の獲得と成長</p>	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ委員会の労働者人権 WG
<p>重要課題：労働安全衛生 対応する GRI のテーマに関するスタンダード：労働安全衛生は、企業の法定責任であるだけでなく、健康、安全かつサステナブルな企業文化を確立するための基盤でもある。労働安全衛生管理へ積極的に投資して実践することにより、当社は、より長期的なサステナビリティ経営を実現できる。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> 403 労働安全衛生 	<p>プラス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切に計画された労働安全衛生体系があれば、従業員を有効に引き留め、請負業者の職場も安全かつ健康的になり、労働災害によって生じる直接的・間接的な損害を低減させることができる。 <p>マイナス面</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生体系の整備が不充分だと、従業員の安全や健康が脅かされ、さらには企業イメージ、製品品質、労使関係まで損なわれかねない。 	<p>経営</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生体系を整備すれば、職場でリスクを識別しやすくなり、事前に予防できるため、労働安全衛生に関わる事故に伴い法的な懲罰を受ける確率が低下する。 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な労働安全衛生体系があれば、有害物質を管理しやすくなり、作業場内で有機溶剤、粉塵、特定化学物質といった有害物質のモニタリングや排出処理が確実に行われるため、環境に対する負荷が低減される。 <p>人々</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な労働安全衛生体系があれば、請負業者の調整や従業員の安全が有効に保障され、安全で健康的な職場が確立される。 	<p>5.3 労働安全と健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ委員会の環境・安全・衛生 WG

重要課題とアクションプラン

NTC と NTCJ では、重要課題へのアクションプランに対応する七大 WG を設置し、それぞれが管理する重要課題の短・中・長期的な目標を設定し、具体的な年間推進計画の策定を担当してきました。それをサステナビリティ委員会が監督しながら四半期ごとに達成状況をフォローし、委員長が定期的に董事会で推進成果を報告します。



まえがき

CH1
サスティナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガバナンス

CH4
環境サスティナビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録

重要課題	カテゴリ	戦略	2023 年の達成状況	短期目標 (2024)	中・長期目標 (2025-2030)
経営・ガバナンス面					
ガバナンスと信義誠実の経営	NTC	ガバナンスの評価 (上場会社) 20% 以内	コーポレートガバナンスの評価の結果は 6% から 20% へ	全て達成	1. ガバナンスの評価 (上場会社) 20% 以内。 2. 信義誠実の経営とコンプライアンスの教育訓練を持続的に推進し、トレーニングテストにおける HQ 全員の合格率は 100% とする。 サステナビリティに関する CSR 計画を推進し、当社に対する社会的イメージおよび投資家やステークホルダーの信頼感を向上させるとともに、ガバナンス業績を持続的に改善させる。
	NTCJ	1. 董事会の会議を開催する。 2. 内部監査を実施する。 3. コンプライアンス教育を実施する。		全て達成	ガバナンスと信義誠実の経営に関する法規を遵守し、国内外の関連規範に基づいて企業運営活動を行う。 ガバナンスと信義誠実の経営に関する法規を遵守し、国内外の関連規範に基づいて企業運営活動を行う。
経営戦略と経営実績	ヌヴォトン ¹	市場発展戦略と新市場の開拓により、当社の黒字経営を持続的に維持する。	2023 年には営業収益が 353.48 億台湾元、税引後純利益が 24.2 億台湾元となった。	全て達成	定期的に QBR 会議を開催して、経営状況を検討しやすくし、業務の実績を向上させる。 1. 新たな製品やサービスを打ち出し、市場を拡大する。 2. サプライチェーンの柔軟性とサステナビリティを確立する。 3. デジタルトランスフォーメーションを推進し、業務の効率とイノベーション能力を向上させる。 4. 持続的に SDGs を重視しつつ、当社の事業戦略に組み入れる。
イノベーティブな研究開発の管理	NTC	1. 2023 年には省エネ・炭素削減型製品の炭素削減実績を 1.18 から 0.73kg CO ₂ /結晶粒に低減させる。 2. 2023 年に新たな発明提案 143 件を出願する。		全て達成	1. 特許の規模を持続的に維持し、新たな発明提案 141 件を出願する。 2. 製品の環境配慮性を向上させ、省エネ・炭素削減型製品のカーボンフットプリントを全体に 38% 超削減するよう決定した。 1. 製品のイノベーティブな研究開発を持続し、環境に優しい製品を開発する。 2. 先進技術の研究開発を通じて、製品の動作効率を向上させるとともに、動作時の電力消費量を低減させる。
	NTCJ	1. 小型、低消費電力かつ高効率な環境配慮型製品を開発する。 2. 2025 年には新製品の電力消費量を 2021 年より 15% 低減させる。	新たなグリーン製品認証基準が制定されている (2023 年の関連成果については CH2 グリーン製品重要課題管理方針を参照)。		既存市場と業界で第 1 位という先駆的地位を維持するため、TMOS の低 Ron という先進技術を持続的に導入し、スマートフォン用リチウムイオン電池に使用する。

1 これには NTC と NTCJ が含まれる。

まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録

重要課題	カテゴリ	戦略	2023年の達成状況 短期目標 (2024) 中・長期目標 (2025-2030)		
情報セキュリティ とプライバシー 保護	NTC	<ol style="list-style-type: none"> ISO27001:2022 国際情報セキュリティマネジメントシステム規格の新バージョンを導入して検証。 エンドポイントのセキュリティ保護を強化のため、EDRを導入・展開し、監視メカニズムを強化。 全社員が情報セキュリティ研修を受講、研修修了率97%以上 	<p style="text-align: center;">全て達成</p> <ol style="list-style-type: none"> 国際規格 ISO27001 に準拠し、社内で「差異分析、資産棚卸し、リスク改善計画」を実施し、国際情報セキュリティ規格に準拠した管理仕様を確立する 「Endpoint Security and Detection Response (EDR) ツール」製品評価を完了 情報セキュリティ研修を全従業員に受講させ、受講率 98% を達成 	<ol style="list-style-type: none"> 最初の ISO 27001:2022 検証に合格し、監査での重大な不適合なし 全社員が情報セキュリティ研修を受講しており、研修修了率 100% 事業に影響する情報セキュリティ事故 0 件 	<ol style="list-style-type: none"> 情報セキュリティインシデントの監視メカニズムを改善し、「Endpoint Security Protection and Detection Response (EDR) ツール」の導入を拡大する。 破壊事故発生時に操業が中断されないよう継続運転管理を強化します。 データ保護管理基準を確立し、社員へのデータ保護の概念と意識を高めるために啓発活動を継続し、機密データや個人情報の漏洩を防ぐための技術的ソリューションを導入します。 AI 情報セキュリティソリューションを統合して、内部および外部の脅威を検出してハッカー攻撃を防止し、自動化されたプロセスを通じて効率的な対応メカニズムを実現して、情報セキュリティインシデントの影響を最小限に抑えます。
	NTCJ	<ol style="list-style-type: none"> ISO 27001:2013 監査の結果、重大な不適合なし 全社員が情報セキュリティ研修を受講しており、研修修了率 100% 経営に影響を与える重大な情報セキュリティインシデント 0 件 	<p style="text-align: center;">全て達成</p> <ol style="list-style-type: none"> ISO27001 監査結果「重大不適合 0 件」を達成。 「全社員が情報セキュリティ教育を受講し、修了率 100%」を達成。 「経営に影響を与える重大な情報セキュリティインシデント 0 件」を達成。 		
サプライヤのサ ステナビリティ 管理	NTC	<ol style="list-style-type: none"> 有害物質フリーに関する法規や顧客の規範に製品を適合させる。 主要サプライヤ²による ISO 14064 または同等の国際認証の取得率を 79% にする。 主要サプライヤによる ESG 報告書の発行率を 86% にする。 主要サプライヤに対する RBA VAP の実施率を 50% にする。 	<p style="text-align: center;">全て達成</p>	<ol style="list-style-type: none"> 主要サプライヤの BCP (事業継続計画) に関する SAQ の完了率を 25% にする。 主要サプライヤによる ISO 14064 または同等の国際認証の取得率を 86% にする。 主要サプライヤによる ESG 報告書の発行率を 93% にする。 主要サプライヤに対する RBA VAP の実施率を 50% にする。 	<ol style="list-style-type: none"> 主要サプライヤの BCP (事業継続計画) に関する SAQ の完了率を 75% にする。 主要サプライヤによる ISO 14064 または同等の国際認証の取得率を 100% にする。 主要サプライヤによる ESG 報告書の発行率を 100% にする。 主要サプライヤに対する RBA VAP の実施率を 100% にする。
	NTCJ	<ol style="list-style-type: none"> サプライヤ CSR 活動現状調査の回収率を 100% にする (2 年に 1 回)。 サプライヤ紛争鉱物調査の回収率を毎年 100% にする。 事業継続性調査の回収率を毎回 100% にする (2 年に 1 回)。 高懸念化学物質調査 (外部購入材料における SVHC 含有の有無) の回収率を毎年 100% にする。 カーボンニュートラル調査の回収率を毎年 100% にする。 	<p style="text-align: center;">全て達成</p>	<ol style="list-style-type: none"> サプライヤ CSR 活動現状調査の回収率を 100% にする (2 年に 1 回)。 サプライヤ紛争鉱物調査の回収率を毎年 100% にする。 事業継続性調査の回収率を毎回 100% にする (2 年に 1 回)。 高懸念化学物質調査 (外部購入材料における SVHC 含有の有無) の回収率を毎年 100% にする。 カーボンニュートラル調査の回収率を毎年 100% にする。 	<ol style="list-style-type: none"> サプライヤ CSR 活動現状調査の回収率を 100% にする (2 年に 1 回)。 サプライヤ紛争鉱物調査の回収率を毎年 100% にする。 事業継続性調査の回収率を毎回 100% にする (2 年に 1 回)。 高懸念化学物質調査 (外部購入材料における SVHC 含有の有無) の回収率を毎年 100% にする。 カーボンニュートラル調査の回収率を毎年 100% にする。

2 主要サプライヤーは 14 社あり、その 2023 年の取引額は全体の約 92% を占める。

重要課題	カテゴリー	戦略	2023 年の達成状況	短期目標 (2024)	中・長期目標 (2025-2030)
------	-------	----	-------------	-------------	--------------------

環境面

まえばき	CH1 サスティナビリティ コミュニケーション	気候変動 ³	NTC	<ol style="list-style-type: none"> 1. 節水プランで水使用量の削減を推進し、前年より年間 1% 低減させる。 2. 省エネ・炭素削減プロジェクトを実施し、温室効果ガスの排出量を 2022 年より 20% 削減する。 3. 炭素精査プラットフォームを設置し、各設備の炭素排出状況をリアルタイムでモニタリングする。 	<p>全て達成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 節水プランで水使用量の削減を推進し、前年より年間 2.8% 低減させた。 2. 省エネ・炭素削減プロジェクト（工程の改善に準拠）を実施し、温室効果ガスの排出量を持続的に低減させ、2022 年より 25% 削減した。 3. Power BI の精査プラットフォームを完成させ、各設備の炭素排出状況をリアルタイムでモニタリングできるようにした。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水使用量の削減を推進し、基準年より年間 2.7% 低減させる。 2. フロンガス削減設備を設置し、フッ素含有ガスを 2023 年より年間 16% 削減する 3. 炭素会計制度を設置して、2024 年の計画を策定し、業務ニーズの提案を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水使用量の削減を推進し、2030 年には基準年より 10% 低減させる。 2. フッ素含有ガス削減設備を設置し、2030 年の製造プロセスではフッ素含有ガスを基準年より 70% 削減する。 3. 炭素会計制度を設置し、2030 年には炭素会計を運用して内部製品の炭素価格を定める。
			NTCJ	温室効果ガスの排出量を基準年より 40% 削減する。	温室効果ガスの排出量を基準年より 41% 削減した。	温室効果ガスの排出量を基準年より 46% 削減する。	温室効果ガスの排出量を基準年より 50% 削減する。
CH2 グリーン製品	CH3 卓越したガ バナンス	温室効果ガス 排出量 ⁴	NTC	<ol style="list-style-type: none"> 1. 省エネ・炭素削減プロジェクトを実施し、温室効果ガスの排出量を持続的に低減させ、2022 年より 20% 削減する。 2. フッ素含有ガス削減設備を設置し、前年より 40% 削減する。 	<p>全て達成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 温室効果ガスの排出量を 25% 削減した。 2. フッ素含有ガスを前年より 48% 削減した。 	<p>2024 年の目標では基準年の目標より 40% 削減する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2025 年には基準年より 50% 削減する。 2. 2030 年には基準年より 56% 削減する。 3. 2050 年にネットゼロエミッション達成を長期的な削減目標とする。
			NTCJ	基準年より温室効果ガスの排出量を 40% 削減する。	温室効果ガスの排出量を基準年より 41% 削減した。	太陽光発電の導入計画を策定する。	Achieve net-zero emissions by 2050 as a long-term reduction goal
CH4 環境サスティナ ビリティ	CH5 安心な職場	エネルギーと リソースの使用 ・消費	NTC	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電力消費量を前年（2022）より 1% 削減する。 2. 契約容量の 8% に達するまで太陽光設備を設置する。 3. ISO 50001 のシステム構築を完遂する。 	<p>全て達成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電力消費量を前年（2022）より 1.3% 削減した。 2. 契約容量の 8% に達するまで太陽光設備を設置した。 3. ISO 50001 のシステム構築を完遂した。 	<p>基準年より電力消費量を 2% 削減する。</p>	<p>基準年より電力消費量を 10% 削減する。</p>
			NTCJ	エネルギー・リソース使用強度の年間平均を前年度より 1% 低減させる。	エネルギー・リソース使用強度の年間平均を前年度より 1% 低減させた。	エネルギー・リソース使用強度の年間平均を前年度より 1% 低減させる。	エネルギー・リソース使用強度の年間平均を前年度より 1% 低減させる。

³ ここで述べる基準年とは 2020 年である。

⁴ ここでの温室効果ガス排出量の目標とはスコープ 1+ スコープ 2 を指す。

重要課題	カテゴリー	戦略	2023年の達成状況	短期目標 (2024)	中・長期目標 (2025-2030)
------	-------	----	------------	-------------	--------------------

社会面

人材の重視と育成	NTC	<ul style="list-style-type: none"> 1. 離職率を8.5%未満にする。 2. 従業員の専門能力、中間管理職者の管理能力に関する研修課程を提供する。 3. 上級管理職者の政治・経済情勢や将来の趨勢などに関する知識を充実させるため、それらに関する研修課程を提供する。 	<p>全て達成</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 離職率が5.6%になった。 2. 専門系と管理系の課程では出席率が100%であった。 3. 上級管理職者の課程では出席率が90%に達した。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. エンployヤーブランドを強化する。 2. 募集チャネルを開拓する。 3. キャリア開発を推進する。 4. 職務専門能力の棚卸し実施率を100%にする。 5. 従業員に対して平均30時間の教育訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 専門・管理能力を強化する。 2. 給与・福利厚生を整備する。 3. 引き留めの仕組みを強化する。 4. 重要職務の人材に対する研修実施率を80%にする。 5. 従業員に対して平均45時間の教育訓練を行う。
	NTCJ	離職率を4%未満にする。	<p>全て達成</p> <p>離職率が3.6%になった。</p>		
労働安全衛生	NTC	<ul style="list-style-type: none"> 1. 労働安全に関する教育訓練の参加率を80%超にする。 2. 死傷年千人率を基準である平均1.81より30%低下させる。 3. 職業病を0件にする。4. 従業員の癌スクリーニング検査率を30%超にする。 	<p>全て達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 労働安全に関する教育訓練の参加率を95%にする。 2. 死傷年千人率を基準である平均1.81より40%低下させる。 3. 職業病を0件にする。 4. 従業員の癌スクリーニング検査率を50%超にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 労働安全に関する教育訓練の参加率を持続的に維持する。 2. 死傷年千人率を基準である平均1.81より60%低下させる。 3. 職業病を0件にする。 4. 従業員の癌スクリーニング検査率を75%超にする。
	NTCJ	<ul style="list-style-type: none"> 1. 休業以上：0件 2. 不休：3件 3. 強度率 (0.06以下) = 0 	<p>全て達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 労働安全衛生基礎研修の参加率を90%超にする。 2. 新人の労働安全衛生訓練の参加率を100%にする。 3. リスクの登録・改善率を100%にする。 4. 職業病を0件にする。 5. 生活診療所計画による適切な生活習慣促進の数値目標⁴は3.56である。 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 労働安全に関する訓練の参加率を持続的に維持する。 2. リスクの登録・改善率100%を持続的に維持する。 3. 職業病を0件にする。 4. 生活診療所計画による適切な生活習慣促進の数値目標は4.0である。

4 飲食、歩行、睡眠、喫煙といった生活習慣の時間に応じた変化率を計算し、目標値とは適切な習慣の値に基づき算出した平均値である。

重要課題とヌヴォトンバリューチェーンへのインパクト

重要課題	バリューチェーンへのインパクトの境界*				
	上流 サプライヤ (原料 / 設備)	ヌヴォトンの運営 研究開発・設計 ウェーハの受託製造		下流 パッケージング / テスト	顧客による使用
ガバナンスと信義誠実の経営	●○	●○	●○	●○	●○
経営戦略と経営実績	●○	●○	●○	▲△	▲△
イノベティブな研究開発の管理	▲△	●○	●○	●○	●○
情報セキュリティとプライバシー保護	▲△	●○	●○	●○	●○
サプライヤのサステナビリティ管理	●○	●○	●○	●○	●○
気候変動	▲△	▲△	●○	▲△	▲△
温室効果ガスの排出	●○	▲△	●○	▲△	●○
エネルギーとリソースの使用・消費	▲△	▲△	●○	▲△	●○
人材の重視と育成	▲△	●○	●○	▲△	▲△
労働安全衛生	▲△	●○	●○	▲△	▲△

※ 実質的のプラスのインパクト●；実質的のマイナスのインパクト○；潜在的プラスのインパクト▲；潜在的マイナスのインパクト△

ステークホルダーとのコミュニケーション

ヌヴォトンはステークホルダー エンゲージメント スタンダード（AA1000 Stakeholder Engagement Standard、略称：AA1000 SES）の五大評価原則（責任度、影響性、緊張度、多様性、依存度）を参考にして、従業員、顧客、サプライヤ/請負業者、政府機関/公的団体・組織、株主/投資家、地域コミュニティ、非営利組織およびメディアといった7種類の主なステークホルダーの棚卸しを行っています。当社では投資家との関係の担当部門が設置され、投資家から随時にくる電話やメールに回答するとともに、公開された様々なコミュニケーションチャンネルを確立して、ステークホルダーに注目されている経営、環境および人（人権を含む）に関する課題や具体的な意見を確実に把握し、ステークホルダーの提案にリアルタイムで対応してきました。各ステークホルダーとのコミュニケーションや関係部門との協議を行った後、課題の重要性について各担当部門がフォローした上で、定期的に董事会へ報告します。

当社では各ステークホルダーからの通報を受け付ける仕組みが整備されており、関連通報事案を各担当部門が収集して管理するとともに、対応・管理部門がフォローし、重大な事案については、各機能委員会で検討します。サステナビリティに関する重要課題については、サステナビリティ委員会がESG実績指標の実践結果と当年度のサステナビリティに関する重要テーマをまとめて董事会の議事次第に組み入れ、董事会とのコミュニケーションやフィードバックを図っています。サステナビリティ委員会は、ESG実績指標の実践結果と当年度のサステナビリティに関する重要テーマを董事会で報告します。

ステークホルダーの類別	ヌヴォトンにとっての意義	注目されている課題	コミュニケーションのチャネルと頻度	2023年のコミュニケーションに関する実績と課題への対応
 従業員	従業員はヌヴォトンにとって重要な資産であり、当社の競争力を支える鍵である。	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレート・ガバナンスと誠実な経営 ・事業戦略と業績 ・人材の重視と育成 ・労働安全衛生 	<ul style="list-style-type: none"> ・労使会議（四半期ごと） ・責任者四半期会議（四半期ごと） ・責任者経営ナレッジ共有会（四半期ごと） ・従業員福利厚生委員会（四半期ごと） ・従業員意見箱（不随時） ・通報メールボックス/ホットライン（随時） ・イントラネットサイト（随時） ・各組織の会議（随時） ・研修課程（随時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・労使会議 4回 ・責任者四半期会議 4回 ・責任者経営ナレッジ共有会 4回 ・Town Hall Meeting 4回 ・内部コミュニケーションチャンネルで処理 7件 ・従業員向けウェブサイトのトップページでの当社理念に関する記事（52編） ・内部ウェブサイト TO ALL での公告
 顧客	顧客とは当社の主な営業収益源であるため、ヌヴォトンは最良の製品とサービスを提供すべく努力している。	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレート・ガバナンスと誠実な経営 ・事業戦略と業績 ・イノベティブな研究開発 ・情報セキュリティとプライバシー保護 ・サプライヤの持続可能性管理 ・気候変動 ・温室効果ガスの排出 ・エネルギー資源の使用と消費 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足度調査（毎年） ・顧客アンケートまたは現場監査（随時） ・当社ウェブサイトの会員コーナー（随時） ・技術検討会（随時） ・技術研討会（随時） ・電話、Email（随時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・付加価値の高い新製品の顧客トレーニングセミナーをオンラインとリアルで計 42 回実施。潜在顧客とコミュニケーションを取り、市場の趨勢・動向や製品・技術サポート情報について検討し、いずれも顧客から好評を博した。 ・当社のウェブサイト、電子メール、チャットウィンドウ、技術的なSNS、電話、日常的な訪問といった窓口やコミュニケーションチャンネルの円滑性を確保するとともに、D365 カスタマーサービスシステムを活用し、技術サポートナレッジベースと回答のリアルタイム性を最適化する。 ・オンラインのデジタルファイル、音声・画像、技術サポートリソースなどを随時更新し、迅速に製品を開発できるよう顧客に協力する。

まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録

まえがき

CH1
サスティナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サスティナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

ステークホルダーの類別	ヌヴォトンにとっての意義	注目されている課題	コミュニケーションのチャネルと頻度	2023年のコミュニケーションに関する実績と課題への対応
 サプライヤ / 請負業者	サプライヤは、当社の運営や生産に必要な原料を供給するため、ヌヴォトンはサプライヤとの共同成長を追求すべく努力している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーポレート・ガバナンスと誠実な経営 ・ 研究開発管理 ・ サプライヤの持続可能性管理 ・ 気候変動 ・ 温室効果ガスの排出 ・ 労働安全衛生 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サプライヤの ESG & RBA に関する自己評価（毎年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要サプライヤの年次評価が完了した。 ・ サプライヤの 100% が RBA 行動規範の宣言書に署名した。 ・ サプライヤの 100% が「紛争鉱物不使用宣言書」に署名した。 ・ サプライヤの 100% が「有害物質不使用宣言書」に署名した。 ・ 主要サプライヤの 86% が ESG 報告書を公表した。 ・ 主要サプライヤが温室効果ガス排出の精査（ISO 14064）を実施した。 ・ サプライヤによる温室効果ガス排出のベースラインと削減目標を収集した。
 政府機関 / 公的組織・団体	ヌヴォトンは現地政府の法的要件を遵守しながら、関連政策へ積極的に協力し、いかなる形式の不正行為も根絶する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーポレート・ガバナンスと誠実な経営 ・ 気候変動 ・ 温室効果ガスの排出 ・ エネルギー資源の使用と消費 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公文書（随時） ・ 法規説明会（随時） ・ 園区同業組合を通じた主管機関とのコミュニケーション（随時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保護・安全主管機関の会議に出席計 12 回* ・ 科学園区組合の会議で取り交わした公文書 18 回 ・ 太陽光発電に関し発行した文書 9 回
 株主 / 投資家	ヌヴォトンに投資しているか、その意向がある法人投資家や個人投資家など。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業戦略と業績 ・ コーポレート・ガバナンスと誠実な経営 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株主総会（毎年） ・ 法人投資家向け説明会（四半期ごと） ・ 財務年次報告書（毎年） ・ 当社ウェブサイト（随時） ・ 株式市場観測ステーション（定期/随時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年には四半期ごとに計 4 回の法人投資家向け説明会をオンラインで行い、延べ 500 名以上が参加した。 ・ 定時株主総会 1 回 ・ 年次報告書を開示 1 回 ・ 連結財務報告書を開示 4 回 ・ 営業収益を毎月公告 12 回 ・ 当社の重要な情報を不定期に開示 ・ 当社の運営に関する情報を法律に基づき定期開示
 地域コミュニティと 非営利組織	ヌヴォトンは社会との共存共栄を追求しており、地域コミュニティの課題を重視し、より良い社会を構築していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ コーポレート・ガバナンスと誠実な経営 ・ 温室効果ガスの排出 ・ エネルギー資源の使用と消費 ・ 人材の重視と育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社のウェブサイト（随時） ・ 電子メールボックス（随時） ・ FB ファンクラブ /IG（随時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティでの訪問調査 2 回 ・ 献血活動 2 回で計 112 バッグを献血 ・ 名人講座 1 回 ・ 読読閑愛古本寄贈活動 1 回 ・ 学校座談会 5 回
 メディア	メディアは、ヌヴォトンとステークホルダーを結ぶ懸け橋であり、ヌヴォトンが迅速に新しい情報をメディアへ提供すれば、サステナビリティのプラス面に関する情報をステークホルダーへ開示するための助けとなる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガバナンスと信義誠実の経営 ・ 人材の重視と育成 ・ イノベティブな研究開発の管理 ・ 経営戦略と経営実績 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人投資家向け説明会（四半期ごと） ・ 業務に関する重要な情報をプレスリリース（随時） ・ 展示会・受賞に関するプレスリリースを公開（随時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人投資家向け説明会を開催 4 回 ・ プレスリリースの発行 30 回

* 台電会社の電力関連会議 2 回、竹科管理局の会議 9 回、園区同業組合の会議 1 回、計 12 回。